



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日のお客さんはどんな悩みを抱えているのでしょうか・・・

**Dr. N**「次の方どうぞ～」

**患者**「おはようございます」

**Dr. N**「おはようございます。どうされました？」

**患者**「私はとある街に作られた自転車道です。国際的な観光都市でレンタサイクルで回られる方も多いのですが、歩行者との接触事故が多発していたのに加え、エコ意識の高まりもあって作られました。ただ、ちゃんと自転車道を使ってもらえず困っています」

**Dr. N**「それは困りますね。ちょっと診せてもらえますか？」

**患者**「はい。こんな感じです (図1)。」



図1 自転車はどっちを走れば良い？

**Dr. N**「えーっと、右側が自転車道で、左側は…」

**患者**「いやだなあ、ちゃんと『自転車通行可、ここまで』と書いてあるじゃないですか。つまり自転車は左側を走っては駄目です」

**Dr. N**「あっ、本当だ。しかし一見するとどちらも通行できるように見えてわかりにくいですね。あれ？ 少し先にも同じような標識がありますね (図1 枠内)。これは…」

**患者**「はい、ここで通行区分が変わります (図2)」



図2 えーっと、この場合は…

**Dr. N**「えっ？ 標識は全く同じで、文字だけで判別させようとしているんですか？」

**患者**「法律で定められた正しい表記方法ですよ。何か問題でも？」

**Dr. N**「自転車に乗りながら見ることを考えてみましょう。ある程度のスピードで走っているわけですから、下の文字部分まで読む余裕なんてないですよ。しかも、『ここから』と『ここまで』の字面も似ていますし…」

**患者**「言われてみればそうですね」

**Dr. N**「『自転車通行不可』の標識なら、ちゃんと専用のものがあるじゃないですか。例えば、こんな感じにしておけば (図3)、文字を読まなくてもわかりますよね。『国際観光都市』なんですから、日本語が読めない観光客のことも考えてあげないと」



図3 2枚並べるとわかりやすい

**患者**「2枚並べるとバランスが悪くなるじゃないですか、それに赤い看板を出すと街の雰囲気が…」

**Dr. N**「(おいおい、いったいどっちが大事なんだか…) それにしても、なぜこんなことになってしまってるんですか？ 歩道と自転車道が明確に分かれていない上に、わずかな距離で通行区分が変わるなんて…」

**患者**「歩道を分割して自転車道を作ったんですが、横断歩道やバス停など歩行者が待つためのスペースが必要なのでこうなりました (図4)」



図4 ややこしい…

**Dr. N** 「うーん。これはもう考えなしに作ってしまったとしたか思えませんね…。ちなみに、横断歩道やバス停、陸橋はそれなりに数があるように思うんですが、もしかしたら通行区分も頻繁に入れ替わっていたりするんですか？」

**患者** 「700m で5回入れ替わっているところもあります！」

**Dr. N** 「そもそもそういう問題があったのなら、自転車道の表示を地面に描くという手もあったと思うんですが…」

**患者** 「実を言うと別の場所では、地面に自転車道を明記することでわかりやすくしています！（図5）」



図5 自転車道…狭っ！

**Dr. N** 「おっ、そうなんですね。さっきの場所もこうしておけば問題なかったように思うのですが…ってこれなんだかやたらと狭く見えるのですが…」

**患者** 「もとの道が狭かったもので…」

**Dr. N** 「悪い予感がするのですが、もう少し先を見せてもらってよいですか？」

**患者** 「はい、こんな感じです！（図6）」



図6 どないせいつちゅうねん…

**Dr. N** 「危ないでしょ！」

今回の症例はいかがでしたか？読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



**担当医：Dr. ナカムラ**

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

捕獲した貴重な品々は「楽しい BADUI の世界」<http://badui.org/> にて公開中。

Dr. トモクワのUIトリビア

そもそも補助標識の文字は日本語だけなので、海外からの観光客には読めないじゃろう。矢印で表す方法もあるのじゃが、これも [→] (始まり) と [←] (終わり) の違いがわかりにくいぞ。「引っかけ」は免許の試験問題だけで十分じゃ。

診療カルテ	
ID	BADUI-008
氏名	自転車道
原因・主要症状・経過など	<p>2013/11/20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車道が機能していない                     <ul style="list-style-type: none"> <li>（・歩道に侵入する自転車</li> <li>（・車道に侵入する自転車</li> <li>（・歩行車も自転車道に侵入</li> </ul> </li> </ul> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクトグラムが同じなのに違う意味（文字だけで識別） 「こまごま」「こから」は厳しい</li> <li>・歩道がどう使われているかを考慮していないため、ひんぱんに入れ替わる自転車道通行可</li> <li>・無理矢理自転車道を作り直</li> <li>・標識のピクトグラムの変更!! (BADUIは会議室で作られる!!) (BADUIは現場でおこる!!)</li> </ul> <p>中村 聡史(明治大学)</p>
処方・手術・処置など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標識を標準的では一目見てもわかりやすいものに変更可!!</li> <li>・路面にも描いてわかりやすくする</li> <li>☆現場をみよ必要ものを!!</li> </ul>